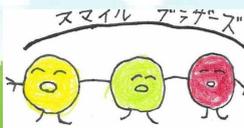


〈世帯配布〉

学校だより

令和4年3月



朝が来る

努力点特集号

名古屋市立本地丘小学校



HPはこちら

〈令和3年度 本地丘小学校 学校努力点〉

「学びを深めることができる授業づくり」

～ICTの多様な活用を目指して～

名古屋市では、よりよい子どもたちの成長を目指し、学校ごとにテーマを設定し、「努力点研究」という名のもと、研究を進めています。

本校では、今年度導入された一人一台タブレットPCの多様な活用を目指して、研究に取り組みました。自分の考えを視覚化したり、友達と考えを共有したことを基に話し合いを進めたりしながら、「こんなことができた!」「これはどうだろう?」と、子どもたちとともに試行錯誤しながら取り組めました。今回は、今年度の取り組みを全部まとめてお伝えします。子どもたちの成長や、その背後にある先生たちの工夫や頑張りを見ていただけたら幸いです。

各学級の授業の様子は
中をご覧ください

ICTの多様な活用

★ 大型画面での共有

プロジェクトを使えば大きな画面で動画や写真、グラフ、アニメーション教材などを見せることができます。迫力があがり、対象の様子を詳しく見せることで、子どもたちの学習意欲や学習内容の理解力もアップ! 右の写真からも、子どもたちの目が一点に集中しているのがわかります。



★ 学習の「個別化」

AIドリル「キュビナ」を使うことで、子どもたち一人一人の学習ニーズや習熟度、興味・関心に応じた学習が可能です。授業の最初に力を試したり、学習後に復習したりすることができます。解答するとすぐに合っているかを判定してくれるので意欲も高まります。



★ 学習の「共有化」

主に「ロイロノート」というアプリを使って、考えを出し合うと同時に友達の考えを見ることができます。自分の座席から遠くにいる友達とも意見交流が可能になり、より多くの学び合いや認め合いができるようになりました。



よりよい授業を目指して

授業実践を行う前には「授業を通してどんな力を付けるか」、授業後には「授業の成果と課題」を部会ごとに話し合っています。「かしこい子ども」を育てるために、先生たちも「かしこく」なれるよう学び続けています。



